

◆ 平成 21 年度（前期）県立広島大学 学部・学科・研究科（専攻）等による FD 活動（教育改善）計画一覧

実施主体	コーディネーター	日・時	実施場所	実施内容
人間文化学部 健康科学科	学科長：江島洋介 学科 FD 委員： 増山悦子・菅原芳明	4 月 1 日～4 月 30 日	特に定めない	1)実施目的・内容 学科における「教育改善」を目的として、2008 年度後期「学生による授業評価」に対する担当教員コメントの集計結果について、学科教員全員で共有化する。
		5 月 14 日 14：40～16：00	大講義室	1) 実施目的・内容 学科における「教育改善」を目的として、5/14 日に実施予定の「オリエンテーションセミナー」時に「健康科学について考えよう」と題するプレゼンテーション（「オリゼミ健康科学シンポジウム」）を開催し、その成果を学科の教育改善に結び付ける一つの試みとする。学科全教員ならびに学科 1～4 年生全員が参加する教育改善活動として企画。
経営情報学部 経営学科	学科長：山本努	随時	研究室 教室 会議室	1) 実施目的・内容 広島県立大学過年度学生に対する対策は、経営情報学部の重要課題のひとつである。指導教員、教学課の協力指導体制によって、広島県立大学過年度学生の、少しでも早い（できれば、今年度の）卒業を目指して、種々の、指導、活動を行う。
保健福祉学部 看護学科	学科 FD 委員： 松森直美	4 月～平成 22 年 3 月 ：毎月 1 回	3416 学内会議室	1) 実施目的 今年度より改正カリキュラムによる教育課程が開始されたことに伴い、昨年度に引き続き学生の看護実践能力を強化するための教育課程の見直しと再構築を行う。これと同時に教員の指導力の向上が求められていることから、各看護領域における専門科目の教授内容の中でも特に看護倫理および看護技術教育の検討を行なっていく。 2) 実施内容 ① 学生の看護倫理に関する意識調査について昨年度の結果のまとめと学内外での報告、調査を継続実施。 ② 看護技術教育に関して厚生労働省が示している看護技術到達度表レベルⅢ・Ⅳ（学内での到達目標）について、本学科での到達度・習得状況を現状把握する。
保健福祉学部 理学療法学科	学科長：大塚彰	① 平成 22 年 1 月 29 日（金） ② 週水曜日学科会議時 ③毎月第 2 水曜日	2416 会議室	1) 実施目的 ① 基礎臨床実習Ⅱおよび総合臨床実習Ⅰ・Ⅱに対する臨床実習指導者会議 教員と臨床実習指導者とで臨床実習のあり方を再検討する。 ②学生支援に関する検討会 学科全体で、学生を支援する。 ③ 学科勉強会開催 教員の、学術的な活発な意見交換の場とする。 2) 実施内容 ① 臨床実習指導者と教員との学生指導に関する意見交換。 ② 特別な支援を必要とする学生に対する支援方法を、学科全体で検討する。 ③ 抄読会や研究紹介、研修会の伝達講習などテーマは自由とし、教員間で討論する機会を設ける。学部内に参加者を募る。

保健福祉学部 作業療法学科	田端幸枝	学科会議（月2回） 他	2416 会議室	<p>1) 実施目的 作業療法学科教員の FD 活動に対する理解を増し、重要性の認識をより深める。そして、本活動により教員間の教育に関する情報の共有化を推進、教育の質の組織的向上を図る。</p> <p>2) 実施内容 ① 情報の共有（学生に関する情報、作業療法教育に関する情報等） ② 教育の質の組織的向上（学科としての FD 活動等） ③ 丁寧な学生指導 1：初年次教育（学生の生徒化への対策等） ④ 丁寧な学生指導 2：国家試験対策（不合格者への指導、受験者への指導等）</p>
保健福祉学部 コミュニケーション障害学科	本多留美	<p>① 随時（月1回）</p> <p>② 年度を通じて （主に学内臨床実習機会）実施</p> <p>③ 実習指導者会議 5/18（月） 7/27（月）</p>	<p>1309 演習室</p> <p>4511 大学院セミナー室</p> <p>4102 地域連帯センター</p>	<p>1) 実施目的 コミュニケーション障害学科教員間での情報の共有化を進め、学生支援の一層の充実を図るとともに、教員にかかる負担やストレスの管理にも考慮する。また、現代 GP「ヘルスサポーターマインドの発達支援」活動や学外臨床実習指導者会議などの機会を活用し、専門職育成のためのより効果的な方法を検討する。</p> <p>2) 実施内容 ① 学生指導および支援に関する情報を学科内教員間で共有化するための、「学生支援会議」を開催する。 ② 現代 GP 活動への積極的に参加する。（コミュニケーションふりかえりシートを活用した個別指導、地域の活動団体の活動への参加の促しなどを継続し、その効果についても検討する）。 ③ 実習指導者会議や実習訪問などの機会を通じて、学外臨床実習施設の指導者から、“外から見た”本学科の臨床教育に関する意見・助言を得る。</p>
保健福祉学部 人間福祉学科	三原博光	<p>6月5日（金） 16:00～18:00 （前日の準備）</p> <p>6月6日（土） 9:00～14:00</p>	<p>体育館 調理実習室</p>	<p>1) 実施目的 本取組は、学生及び教員が、三原市地域の障害者家族の実情及び問題を知り、その解決に向けての方法や戦略についての学習能力を身につけることを目的としている。また、この活動を通して、日常生活のなかで様々な課題を抱える障害者家族を励ますことを目的としている。この活動は三原キャンパスの現代 GP 活動の一つとして評価されている。</p> <p>2) 実施内容 三原ゼミの3年生が企画・運営にあたり、人間福祉学科2、3年生、看護学科の学生がボランティアとして参加することを計画している。また、障害者施設・障害者家族との連絡・調整を学生が行うことを計画している。 ① 体育館で学生と障害者がビーチバレーボールの親睦試合を行う。 ② 障害者との交流を図るため一緒にカレーの調理実習を行い、試食する。</p>